

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	R.Y	学部・学科	国際総合科学部・国際総合科学科
学年	4年	派遣国	イギリス
派遣大学	イーストアングリア大学		
期間	2021年 10月 4日～ 2022年 6月 19日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (95000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	8000円	スーパーでの買い物(1回2000円程度を週3回)、学内食堂等の外食
学用品購入費	0円	
交通費	0円	
交際費	10000円	友人との買い物など
その他	10000円	服・嗜好品
合計	28000円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

イギリス内でも比較的治安のよい地域で、日本と比べても大差ありません。

3. 医療について

(1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 (AIG 保険)		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(234280) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

(2) 受診記録

医療機関を受診された場合は、可能な範囲で受診内容を記載してください。

受信していません。

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (ノリッチ)
町全体としてはどちらかといえば田舎の部類の都市ですが、買い物や映画館、劇場などもあり、十分に休日を楽しむことはできます。少し足を延ばして、田舎の地域まで行けば、牛や羊、馬などが放牧されてる場所もあります。また、ロンドンへは電車で2時間程度で行くことができ、電車やバスを使ってビーチに行くこともできます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	イーストアングリア大学	所在地	NR4 7TJ, Norwich
最寄空港	ノリッチ空港	空港からの距離	6.5 km
空港⇄大学	(バスと徒歩) *移動手段		
学生数	17000 人	留学生数	3500 人
学部	教養学部、社会科学部、医療健康学部、理学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	教養学部 芸術メディア学科 メディア専攻 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	10 時～13 時 アカデミック イングリッシュ ユ	10 時～13 時 アカデミック イングリッシュ ユ	10 時～13 時 アカデミック イングリッシュ ユ	10 時～13 時 アカデミック イングリッシュ ユ	10 時～13 時 アカデミック イングリッシュ ユ
午後	15 時～17 時 チュートリアル	15 時～17 時 トピック			

② (1)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		8時～10時 ワールドシネ マ 10時～11時 デジタルメデ ィア	8時～9時 ワールドシネ マ 9時～11時 マーケティン グ基礎	10時～11時 デジタルメデ ィア	
午後					15時～17時 マーケティン グ基礎（隔週）

3. 履修内容

科目（和訳）	アカデミックイングリッシュ		
履修期間	10月～12月	単位数	
授業内容／形態	対面授業 曜日ごとにリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの項目に分け、それぞれの項目について、大学講義内で使うような学術的英語を学びます。		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	ワールドシネマ		
履修期間	1月～6月	単位数	2
授業内容／形態	講義形態の授業と少人数のセミナーが週に1回ずつあります。 ハリウッド映画以外の世界の映画についてテーマごとに学術的に分析します。		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	デジタルメディア		
履修期間	1月～6月	単位数	2
授業内容／形態	講義形態の授業と少人数のセミナーが週に1回ずつあります。 デジタルメディア（SNS等）の理論や発達、健全な利用についての学術的研究をします。		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	マーケティング基礎		
履修期間	1月～6月	単位数	2
授業内容／形態	講義形態の授業が週に1回、少人数で実践的なマーケティングを行うセミナーが隔週であります。マーケティングの基礎理論を学び、グループで実践的マーケティングを行います。		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数		
	担当教員		

【総括】

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学全体としては大変満足しています。勉強と遊びの両方においても全力でできたと自負しております。まず、授業についてですが、留学前は講義についていくことができるのか不安な部分もありましたが、実際に始めてみると、授業自体は滞りなく理解することができました。初めて聞くような単語や表現にも何度か遭遇しましたが、友人に質問をしたり、予習の段階で調べておくことで学習の進捗に影響はしませんでした。

また、イギリスでの授業は基本的に予習を行っていることを前提に講義が進み、予習した内容について質問をされたりするので、予習は必須でした。それに加え、モジュール自体は3つしか履修せず、1つのモジュールに対して週に2回講義があるので、1つのモジュールに対する比重が大きくなっています。中間提出課題については任意提出のモジュールも多く、主に最終提出課題に向けたアウトラインを提出し、方向性などについて担当教員からのアドバイスを受けます。最終提出課題は日本の大学と比べ、3~5倍程度の分量のエッセイの提出が求められます。したがって、課題提出期間は大学内の図書館に籠ることもしばしばありました。しかし、受講したモジュールについてかなり精通することができるので達成感があります。大学内の図書館は24時間開館しており、セキュリティも巡回しているので、深夜でも安心して勉強に取り組むことができます。

長期休みの期間は現地の友人とヨーロッパ旅行に行きました。まず、驚いたことは航空券の安さです。時期にもよりますが、ヨーロッパ内であれば基本的に1万円以内で往復の航空券を購入することができます。大学内には大きな湖があり、バーベキューやスポーツを楽しむことができたり、大学内のバーではビリヤードやボードゲームを行うことができます。また、バーには毎日たくさんの生徒が集まっているので、友達を作るのには最適な空間で、私自身もそこで何人もの友人と出会いました。海外では、知らない人に声をかけるという行為のハードルが低く、自分自身もその文化に慣れてしまうことで、友人をたくさん作ることができます。街を歩いても「そのジャケット格好いいね」などと知らない人から話しかけられることもあり、人はみんな親切でフレンドリーです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学前は絶対に海外で働きたいという思いから留学を決意しました。しかし、実際に行ってみると、日本の生活環境、特に衛生面での素晴らしさを実感したので、良い意味で今は将来、生活する場所にこだわらなくなりました。自分のやりたいことが海外でできるのであれば、海外に渡るかもしれませんし、日本でしかできないのであれば、日本で仕事をアウルと思います。しかし、このように生活の場所が日本にだけに絞られず、選択肢が増えたのも、英語が喋れるようになったからだと思います。将来的には、海外で仕事をしてみたい気持ちもありますが、以前のように絶対的に海外にこだわるのではなく、ボーダーレスに考えていきたいと思っています。しかし、就職活動の面では、海外との取引ややり取りのある企業を主に見ています。また、グローバル化の現代においては日本企業も積極的に海外進出を行っているので、言語はもちろん、実際に生活をした経験や海外の人とのコミュニケーションの経験は絶対に活かしたいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学を悩んでいる人がいるのであれば、私は絶対に行った方が良く強くお勧めします。文字や映像、写真だけでは伝わらないものが絶対にあります。また、留学を決意されている方には、現地での勉強は大変かもしれませんが、極力、部屋で1人でいる時間を少なくしてほしいです。1人で悩みながら勉強することも大切ですが、やはり分からない部分もたくさんあり、そこに時間を費やしてしまうのは勉強面でも、留学という環境を活かすという面でもマイナスです。友人に質問をしたり、友人と一緒に図書館で勉強し、一緒に考えることで、自分の対人スキルも語学スキルも、勉強面も伸びます。

最後に、たくさん遊んでください。海外の学生は日本の学生とは比べ物にならないくらいよく遊び、様々なことを経験しています。それは皆さんにとっても財産になるので、郷に入るとは郷に従えという気持ちでたくさん遊んでください。人見知りや人種差別を気にしてあまり社交的でない方もいらっしゃるかとは思いますが、是非、海外にいる間だけでも自分の殻を破っていただきたいです。ちなみに、私が渡航したイギリスではアジア人差別を経験したことは全くなく、むしろ日本文化が好きな人がとても多く、日本人は人気者です。現地の友人からは「日本人だからって、いろんな人が話しかけてきてお前はズルい」とジョークを言われることもあるくらいなので、自信を持ってください。